

日原版所 下誠灰史 知里燃官 花無電佳 書者以年 會奇戲種 局幸避此勝燈業 可不中名 也間外供さ 比僧西菊 業得每個可到 版政物

極為後 之有穿戶 作興 閩

捣 **秋** 號號 八きは多角を発見した。一切のは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切のでは、一切 俗

大洋五角大洋五角大洋五角大洋五角大洋五角大洋五角 

田理館董葉經租如不寫可於登十如公預百港早某公事於得已

館出

● (日二念月九年四十三緒光)

茗 题 手唱脚 拉戲說 兩 嘴 認 公道 各開至

業 理學講義 花樣一樣 開 

拉戲路 風機風 金雪紙 電影 電影 電影 電影

月別特

本做短並券

銀各存發在

集日美 D經三版二集存書無多問題內如藍 例別 聖等之時事迹之翔實與照片之多の

Elisaberto de la como de la como

體 互

相

立而

除以爲防衛

罕見之物 擬付石印以廣流傳限內趕 印不及展至 本館自三月朔鄰行週年紀念凡訂閱本報一分及 湖北簸捐彩票中彩號碼贈彩圖以贈品均係海內 詩手卷一幀 說廿種

錢又敏着色山水冊十二百 第一張贈竃玄宰書聖教序 山西園雅集圖手卷一 何子貞書橫幅一軸

五彩三張 四彩三張 滅山閣集一 新舊五種 文清行 張玉川山水畵冊十 張贈劉文淸行 第三張層陳玉方

十一彩二百六十張 名八書畫二件 七彩十五張各層名人書畵二件 九彩三十張 藏山閣集一部 十二彩六百張 十彩六十强 藏山閣集一部 各贈 各贈

以上自明彩至十一一彩除小說新書外 **警畫與與與墨寶藏山閣** 之任務。

集係海外新印 世之珍 間先生秘著均希

### 0 論 說 Ð

西之地

方自治觀

若君主若諸侯。 希臘羅馬爲自治之國家 市之自治而 是。福 一義。 一義 故 一章 治。 弱。 中 國。 策再進。

本館定報例

國全年十六元七日寄十二元中國境內全年逐日寄大洋八

報

增

H

置

膨

九報資均請先惠原本 一本報自七月

回學 不初件堂 取一

有分日

章特增

者此加

照通五

上告日

圖報每

張

文凡因本

入折日·

本

逐日寄

全年七元

送月

於·北·見·

**医型乙基亚果** 

孫請條的及法規

變國家。 國家統治之下於 國家大成中央集 者有 知。

自°為。 治°中•

**立早隨此**。 之。願。 自。中。 治。央。 歐西• 地方。 國受此變動 英法二國市 達。邑。咸• 衰• 冱。者。 政治。 微

同日

健。民。故學者。國。者 均 廉隅著賞給 著賞 著賞給 士江 著賞 趙連 致政 一十王 給法 法 醫 政 程 著賞給 政科 油 法 著賞給商 進 林先氏 樅王 署賞 李盛

張其即勢 之。近 道時 然進步之觀一般馬馬如是故德國之市邑於 之。法德美奥俄 九 月 廿 **(1)** --電 日 各國。 未完) 宮 召見軍 門 抄 機 **3** 

### Ð 電 傳 閣 抄 图

**周杰張成棟均著 俊等之**法 中等乙法部 中等之翰 著授職編 、驗看進士 主 最優等 分中部等 著以 考 事 林 主事 

**馳看之學部** 士彭世

以德國之市邑較歐洲諸國地方侯伯養全爲警遇公 地,然,也,以 氏克享 

日 抄奉

·陳籙著賞 欽鼎元

逐本 舘 專 電 **D** 

法使 達賴 部 禁烟 决奏问 重鐵 政改革 以 簡 劉 昨 事宜己商准 俟 (二十日) 袁尚 行走同上 速開 調慶寬襄辦 期滿外部 中肯尤注 自齊開 刻北京電 民

滋黄炳言孫雲奎王鎮南鄉亮熙着賞給工科舉人声時 **費均着** 着賞給工 **舉人李景** 駒均著賞 賞給法 許政 鎔着賞給法政科 質給醫科 給醫科 李景圻 人于 政 均 人吳 吳炳釗 霆恒 文易陳家 可克熙趙 培著賞給 Ŷ. 汪潔區 翮泉人 澤定着 機均著 人徐格于世政 舉賞人給 趣 于世致著人書勳科賞鄧 藏吳 準 舉給承舉給鴻科人法修人法泰舉 illa

均著賞:

不應抵制與國第合公司輪船一事 政府預備戰事上之供給派意皆同均贊成此事 又追出門的尼格路國議院於日前開會密議要求 的尼格路國密議

多名日向蘇院左近騷擾昨日為警局拘捕共計三 倫敦電云英國有賦開上黨及要求選憑權之婦人 十七人內有婦人二十四名同時被拘并有受傷者 **| 工黨騷擾之結果** 

現已由 又電云英開海定傳士此次在西藏探得緊要地理 英國大探家回國 (大選人隆院調治 印度之榜貝城起行柱香港取道日本回國

科之新面目。 新面目。 新面目。

矅

今0日2

之新學界中乃有此

外部 德懷孫實琦電告政 底 節 飭各稅 回國 Ŧ 式枚 同上

**(4)** 四 ¥0.¥ 譿 实 **E** 

又電云保加利亞京城(蘇非亞)電云外間傳聞保 路透電云中國借鹽還京漢鐵路之數現已招足過 領盗出餘股不 **深保國不認與土國宣戰** 溫田餘股不少現已截止收數 京漢銕路借款過額

彼此未丁案件均已商決 國已與土國決裂其實並無其事云 便商議要事上日明何與國大使接談甚久聞所有 **柏林電云德國皇太子於前日接見英日土三國大** 德國太子接見使臣

金米人軍忽然出軌章未受傷 省乘火軍忽然出軌章未受傷 用與國向成之紅色軟帽現均乘置不用另以本國 偷敦電云土耳其通國現已實行抵制與貨平日所 紐約電云美國候選總統塔虎脫前日在(亞赫亞) 緣塔虎脫乘火車受驚

制造之日色帽代之 ● 奥使與土政府抗議

又電云匈奧國駐紮土耳其大使已爬土政府抗

約三百十五票選舉總額係八百八十三票 為後任總統已約三百另六票民政黨白拉痕君已 華盛頓電云美國統總羅斯福計算選舉塔虎脫君 **華殿總統選舉票計數** 

及學生既入病院乃知其事不佳而到院及學生既入病院乃知其事不佳而到院

**(4)** 東 報 懿 要

**3** 

署

健使

府

## 贖 回京漢 鐵道餘

關嚴禁嗎

强盗萬分危急僅以身免云 **茨口**有日六 名由陸路科湖南長的府途中 忽·

該地商務總會幷不遵照且偏發傳單以期始終反奉天擬與辦房捐一事雖經徐督屢次出示確促而 ●奉天反對房捐之堅定

**判日本決定由南滿鐵道公司派道理事國際君典中日兩國于吉長鐵道事之協議擬在北京開始談** 萬元云· 中俄兩國人現在奉天合辦銀行一所資本為六十 奉省中俄合辦銀行 中日將議吉長鐵道事

時間云 ●日俄聯絡鐵道改時間 日聯絡京奉滿鐵 事

· 中医本月初七日在大連開議京奉與南滿南鐵道中歷本月初七日在大連開議京奉與南滿南鐵道中國 事 及發售通行車票等事大約不久可期圓漏改決一已經協定現又順序協議兩鐵道通載貨物之憑

3

第店帳者之斤斤較量然此之謂**市僧面** 四以一月之學費。學生反復爭論如核 學生監督則固儼然新學界之領袖也 學生監督則固儼然新學界之領袖也 新學界之新面目

及使館證明書來知不可辯乃老羞成怒所欲則將甘心於失主而後快此之謂强而他學生以老舉如切人財物者不滿其而他學生以老舉如切人財物者不滿其

面目

書閣灣

## 音 H

五一种製館凡藝角奇浮是流息英規九通耳文 盤也退專呼雙 英雄除治吸因界言雄一不腎 棋斯熱切能水廠 朝天盒無則上聲 東海峽海遊炎門倉根男火或 歐小愈聽耳耳多 在二耳目 採思寫創詞

人重其量下, 元解三服昏臟 南東年第卷官 東東老曾電 八身症語量 大身症語量 損體之間因出 

開門如別

後事一定事

經濟文價是

**世営之一班 集み文集詩集尺時度と「東京軍事質是供 正史之考証」中加上軍債所留都皇帝 正史之考証。中加上軍債所留都皇帝 正史之考証。中加上軍債所留都皇帝 正史之考証。** 

良由月月

洋券集三庄亦

**(1)** 要 D

## 身部用款大半將前存北京道勝銀行 五百萬之息銀向來最多時每年有二 十萬少亦十餘萬或數萬今年道勝商 業不振竟不能付出以致學都異常育 北 京學務近聞

## 變通旗 之紛

● **黃軍機收回裁判政見** 母旗籍萬不可裁旗制可改糧餉可裁 母旗籍萬不可裁旗制可改糧餉可裁 老姓萬不可添等語政府亦有被其搖 老姓萬不可添等語政府亦有被其搖 老姓萬不可添等語政府亦有被其搖 老姓萬不可添等語政府亦有被其搖

# 締·越• 域• 水。 東京二六新聞。東京二六新聞。

# ●志田博士應聘己於前日乘竹島丸抵津當 學博士志田岬太耶參預編纂之事刻 政府前爲編纂大清商法特聘日本法 政府前爲編纂大清商法特聘日本法

部各 詳商藏務並演習禮儀各節同張蔭棠逐日與達賴討論 理藩 論

### 政府前議 我使反 海開 將 中 張家口及庫 华有俄 聞俄新 岸倫開埠通商 使到任 作梗

權,多而數。 無•反•事•(此學•母•母 或革後學員亦但有選舉權· 長內中某學堂監督提議 長內中某學堂監督提議 長內中某學堂監督提議 養一等係包括各學堂教 長內中某學堂監督提議

# 法

日即乘車赴京 博士應聘已於章 當 刻

心是種種事項刻已由政府的令理藩 (展注及會籌藏政要端暨回藏後如何 展注及會籌藏政要端暨回藏後如何 明達賴喇嘛日前呈請代奏明示觀見 何• 見•

軍

常·勝·有 窘·商·二 年已久較他國關係為深倘然俄商在庫倫張家口等地通商 見該部各堂密商至一小時我國將來開放該地月初記 商殊與**數國**華已久較他問 答侯從長計議。 全• 與敝國商 商• 國務• 關 地•利。係 小 

### 政府 改 短 禁煙

省各就本省情形酌核要 體察情形再行定奪聞政 清若予限五年庶幾十年可 力贊成請改為三年運則五 中華 限二三年禁絕均交政務學東三省總督等請限一年林禁烟一事各督撫紛紛奏禁 恐徒减 餘質成者亦 是於事毫無實際 小多惟澤公則謂常 · 形酌核奏聞現立定奪聞政府己 ₩一年禁絕工**督**請 經一年禁絕工**督**請 可望斷根其 五年鹿中堂 根中堂 爲期過近 擬令各省 現己 患 識・寄 改・各

## 憲法叢 報之組織

刻正籌畫一切 大臣即在政治官報館附刊以節經費 之名義聞吳郁生侍郎規擬商之各王 報一節擬欲頒發全國以符惠政編查憲政編查館王大臣議商組織憲法叢

# 鄂秋操之部

本進遇事較爲靈原 家港至石牌鎭之即 家港至石牌銀之即 秋操運載 月已咨明皖撫派員會勘論 下至石牌鎮之內河論節本 下至石牌鎮之內河論節本 地需火輪民舫無幾水陸區 以備行駛小輪供廠 地需火輪民舫無幾水陸區 早道既 有車 輛 馬匹・ 繪 具圖 水道

送•撫•驅石•共策 部 肇 前 即電院撫備辦軍馬里馬一律供給 用原數恐尙不敷復 即電院撥用所有草 中馬二百匹於十月 中馬二百匹於十月 中馬二百匹於十月 事 端院 撫已飭 成• 沿 月•復 十•電 途分設 百 夫 一致 糧 日 沈 匹. 俾供 彈 護 馳 雅賽遊計剔西皖等岸銷數頓增非借 臣允暫租招商局輪一號赴十二年 向駐儀機緝私之兵輪一艘設法拖袋

員

時之久聲 貴• 埠•易•聲 大臣 小松涼亭 港 灣

# 置夜輪換

律· 地契計種· 作廢 其種· 但 現擬辦理

月輪運到岳州越即以舞銷市等語常 銷那河臘正水小 所能資金節准和無電稱和岸存鹽值 **竈塡池放墾之墨當時祇患盆多不**四 除坞窓之議至光緒十七八年前督知 產多館滯爲慮光緒三年沈前督督 運成案輪運到使以期迅捷查准南部 比之去年又必加增其餘各岸情形 岸之蓝巳有十七萬三千七百餘引三千餘引本年截至八月中旬和局 督 筋司 枝 听 夕 賽 維 自 上 年 冬 間 即 專 派 官 輪 發 送 敷接濟復働由運司籌議請將准北公 不难逗遛歷年夏季各鹽船均 各岸鹽引并電飲各局卡鹽九江關 岸往年歲**館不過**十 旺而整頓垮竈就濟溝河非旦夕所 面各場產收僅能勉敷舊額前經方 預籌恤商增產之策業經先後陳奏 淮南各岸近年銷數驟旺比較住時 毋許歇伏雖在盛暑並未停型酒 必須專為和岸借 一二萬引上年 須歇 能奏效即如和 舊存及開江到 但各岸銷市 **陸殿照東蘆** 竟銷至十二萬 **外大率相同方** 更有數學數 **平年湘岸銷數** 变員問 歷考查· 常增十餘萬即 1 令回姿鹽船 五萬引趕十 敷至十月之 務從前均以 的残額引删 內河駁船不 收斷非目前 復經職飭禁 借

## 2經郵傳部尤作 路叉換

東聯合淮

蒆

鹽赴岸並發

俾利過行方

商 年

集賢關李志雲七里河巡檢黃松爵地名錄下縣丞增聯懷寧北叚傅重 松楓香驛陸紹基太湖槎 · 許金綬懷寶北 問本 黃泥鋪又委通判往 徐景贄宿松 **学振遠太腶** 

**政端午帥札派** 理最為嚴厲 水莠民 親往 並浩 大湖一帶 種 選 最 易 医

往

# |龍改土歸

除應行一切事宜再行次第墨納糧所有從前番字執服一律 強地畝均令換給漢字蓋印地 強地畝均令換給漢字蓋印地 一種地畝均令換給漢字蓋印地 一種地畝均令換給漢字蓋印地 納·種 糧·地 所 畝• 餘應行 江督請軍機代

## 奏電 周署公所廟宇)為一類 (神戸)(軍戸)民戸)(工戸(客戸) は神戸)(軍戸)民戸)(工戸(客戸) は門牌特別分為三類(一)(官戸) 將戶口門牌發給各貼門首以便一覽開特飭各分局清香戶口以便稽核已開始。 · 界督清· 查 戶

每逢大雨即成澤國該局李大令前真公廨惟該廟地勢低窪溝剛多年失修已歷數載現餐局已將此廟買作該局 民相戒在1 二元不等此<u></u> 以定名爲修溝經因戲語致滋口舌者均帶局科 万黑·甚致二三游手閒民把臂同行忽是非口角之婦及過往人衆或因小故 已籌得一集欵奇策凡遇街頭門首有巡警道撥欺疏通以無處開支而罷現 武昌警察南局原借城內八蜡廟開辦 武昌警察南局之科罰 百元即行開工沒修• 偶語 舌者均帶局科罰 見醫兵過 附近居 均 一元

### 次不承認<br /> 薄局中人擬暫以<br /> 台道兪庶三觀察接辦主持 又換總理 劉又另舉前浙 坐總 **拼**理:江前

吳星階侍御開會集議宣布 辦粵漢速修川漢鐵路擬借洋倩 六百萬籌捐一千萬興築經教育 大百萬籌捐一千萬興築經教育 六百餘人

### 楊文榮 陳乙時 助 世班 護 雄 月學 郭緒 張 恭 維 恢

漢鐵路 一次研 洋育·債·來款 曾·千•停 究 會 京外官 監督黃翼曾充坐鄉總坪特不知工總理劉主政景熙接充而以鐵路學

## 沙灣之間尚爲合宜已測量繪圖呈外商兩部核奪 沙灣之間尙爲合宜已測量繪圖呈讀學初議皇經閣一帶勘查作爲商埠嗣學初議皇經閣一帶勘查作爲商埠嗣鄉無電外務部及農工商部云常德開 湘省常德開埠改地

# ★海河物自前年有二三熱心商界組 安南華僑被法人束縛馳驟幾不識國 安南華僑被法人束縛馳驟幾不識國

蔡懿昌 生考驗前列者錄下(甲班)王家 鍾昌泰 陳光翔 許 陳得 名 池興起 林惇庸 楊秀猷 郭昭光 楊碧珊 池典慈 鐵(丙班 翁守

### 起仁和縣東鄉半山臨平喬司等處受浙省今年荒歉鄉民告荒者不下數十 浙 省鄉 民跪 香告荒

人• 五•月 齊 日•至 衣 ● 安徽師範學堂》 中事毫不過問現署河道何觀察廷俊亦心存五日京兆因此學生多懷疑懼 自前月十五日京兆因此學生多懷疑懼 自前月十五日之今甲乙班生俱未上 課聞擬俟曹觀察回任後始能解决 全院市立、

### 記與否故刻下尚未確定 九坐鄉總理特不知江西 尚未確 定•西 堂 **杭屬仁和縣東鄉** 因髮逆之亂全港淤塞會經**撥款**開上通省垣下接臨平海寧喬司等處 浙 民禀准 -山地方有槎瀆 提 款 開 港 溶 BIJ

外一千五百三十元為開始 聞已裏准仁和縣先提縣中

### 地居民並不駭異附股又格外踴躍該 地居民並不駭異附股又格外踴躍該 至常山隔半月後再由上而下所經之 至常山隔半月後再由上而下所經之 州在法人創設之培材學堂內午飯後 獨工鐵路工程師帶同繙譯勘綫至衢 浙工程師察勘路線 省縣令提倡路股 前該

所集之股銀襄城縣約一萬五千以上 路利害集股方法竭力演說現計兩縣 路刻惠縣開通神董親赴四鄉將汴省鐵 大省襄城縣楊令溶太康縣王令元瑞 展以此質問諸管理昌管理員詞多支有屆四年者照章本應畢業近來學生有嚴四年者照章本應畢業近來學生 **汴省客籍學生罷** 

## 明謂鼓動風潮者係汪關胡三生旋經悉飾各生具意見書內有两生上書陳不堪下箸衆皆相率不食當經監督查全院師範學堂學生日前中膳時菜蔬 · 床 比 即 開 除 以 矣•均



項

標

號逢另元購

過於

吉

如

里



다. 스탠스 보고 있는데 것이 그 아니까 말라니까 말했다.

ila, kandera jarak 1970 lahat Albahasa katala

茶 闡 桂 角名等超頂特角三鷹正夜二念 何邱夜熙三餐碼夜小任一譚吳 家風來文麻桂二來短靈陣月鳳 聲翔香通子芬詢香仙芝風明鳴 戲新本六根大相探陰神花拿黃 笑 笑 笑坡長駡親山虎娘九袍

顧

認

明部旨

**林**各

STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

8

收煙的矣此舊年除流入中,無濟人

國自强

亦 絲將 解 屢論詳相發欲獲衆自無之丹 除 均久參者機除近戒煙

風茶 战好角名角三洋價減大夜二段 部趙趙李九天王趙何萬**教**士金 榮小如春月城瑞春金**妻**祭**妻**社 **群康泉利仙旦雲奎春燈群燈丹** 戲本良武排堂三進頭長官 須 廟 蜡 虮 自跑 中 朋黑 附人 女扮力大金刎馬宮 友心 馬才

容備上風月少月 連運勝柱秀 戰大 部 穆 蒲顏馬盆秋 **摩安虎面青審案柯關**瓦坡計配

### 時 事 小 言

此。咄 吐之 怪 怪事吾國之供給達賴乃日費如

止筵宴而 者之所為乎富哉中國 中國貧吾終不信今觀此等豪**鬼** 西天。 竟如此豪華。 地。 份。

默其他舉行。 政府興教育。 税耳哀哉吾民 (丹木) 不過, 茲。無。

# 函

## 省諮 議局事件

潼方: 太史濮方 人可以擔任問 白叔中翰陳叔通吳雷川 滬或醫不日即赴滬湯 中述尚擬另行照 一次到者僅濮梓 中僅

調查各 辦處成立後會同安議詳沒終奪神等籌議在案候抄摺札飭藩司 病格関悉所練諮議同舉辦選舉 己照會前大學 士王 之製造品及發見之天產物應再廣為搜集

# 皖省六安學務近聞

六安中學堂監督汀樸齋君淮於七月 一一四日病故方旦初州牧以開學在

山西保晉礦務公司聲

完 極 品 眉 壽 廣 嗣 丸 與別樣

安徽諮戲自治两局前已行文各屬 ▲皖省諮議白治傳考學員

母江京卿府中會議一次到者僅濮梓 仁和相國以年老辭是月初十日在陸 街省諮議 向經浙撫增中丞照會九人 實 江旅滬會是文 轉飾所屬按照前次寄陳各品經送來京其有新

## **附以備考查奉** 一蘇紳致江督電

浙撫帥據情上達大聽以明非黨人。民捐愛國熱誠不應湮沒乞大帥電商南京督帥鈞鑒吳芝瑛曾發起女子國 (爲吳女士事)

與晁君 城師範傳習所優等畢業生楊君以深光線較前此尤爲合宜效員係安徽省 曾壓傷一人暑假暇時重建屋宇堂內考教員率諸生同在講堂試驗科學未 為校舍其房屋歷年已久樣柱朽壞五南城初等小學堂向借楚忠嗣後進作 月問霪雨自修室猝然傾倒幸時值 工程完竣業於八月十六日一律上堂 禮惟楊君到校後擔任職務克業於八月十二日蒞堂率諸生 一虚於七月二十八日開學現 補縣在籍楊紳承穀 代

# 京師重建陳列所摺

未經解是者尚不止此數擬請衙下各省將軍督撫 **水須預爲儲備查前陳列所各省已經解送物品** 有三千餘件現當各省提倡實業改良工藝之時似 需銀八萬兩之譜當由臣部陸續籌數並衡趕即鳩 ・・・熱無取錦張規模亦宜完備現筋疫質估計約 地步綜計建築陳列所及附設工業試驗所各項工 延用化學工 師解備機器樂料週有新出製品之原 化學試驗明確宣布週知以質發明製造益求改良 科及發見之天產如未能悉其底蘊可送試驗所用 需今提仿照在於陳列所傍附設工業試驗所 民房量為廣充重新脩建期以工藝局彼此致證研 究互奇補助實於工商兩界裨益良多資各國辦理 局西偏地勢寬敞近接通衢擬就該處隙地再酌購 生體察情形似宜遷地為良查廣安門內臣部工藝 前規惟前辦之陳列所密理市廛地勢逼窄危險易 焚烟當將大概情形奏明在案自宜亟圖修復以蹿 三十一年奏明創辦京師勸工陳列所調取各省工 物品以備參考恭摺仰新驅變事籍臣部前於光緒 **庀材依法修造以期早日觀成至該所陳列之品** 展工商部奏爲籌擬重建京師勸工陳列所並調取 業試驗場以備化驗原料之

憲批照唯 ▲札査買空賣空 **切照前年河間裕璪游法以** 二十五日前後親往該處於 ·高等小學堂為行 · 以閱該縣 令現鮮和 1 1 1 1 1 1 1 種 T 為行動

**莇知當札飭商會總理王觀** 銀錢蹑落皆出其手最為的 **承為外醫再以買賣銀洋為** 察賢實市面 生員空賣空把持

## 安慶近信

對於貴守甚形不悅未聽能 皖東見各當道使奉牌示即 ▲貴驅預備赴任 赴任問 刻下 貴福 皖 業 神等

免五成十四州縣减免七成免五成十二条雖照缺分之優 自本年正月起所有去年未 護撫以前 瘠分別全発十 之項 七州縣 简須 | 馮撫所定 律 原九 照定縣 粮係残减

復等公禀馬 選指章續呈寓滬江市 蕃 士: 李鍾

H.

俞

# 立

業合志同方以智識 晋及本部院有厚望 之日 教育之

示曉諭以免疑阻仰問道善慶隨時開導並行 像與遊派譚寶兆樑 菩慶隨時開導何時疫氣 田職局防疫頂下開支並 茲則情事從同疑請大帥以解查北塘前時息疫官 惟投氣流傳爲害甚大設 民情今併此極簡之條尚 **法事理繁密然職局施行** 多人力請停辦不經之語 案自應照案辦理乃頃接 從前北塘患疫時群定章 傳染之虞並另設避疫院 到醫院調養施予藥餌備 現在唐山醫員人等每日 八民不願醫員查驗更不 來經咨由津海關奏道紹 **永秋近霧直督云竊職局** ▲真明騐治瘟疫・ 深河明自應隨時停驗仍將 一號升煮 衰派委彈壓 在案 电蒙升煮 衰派委彈壓 在案 电影升煮 衰派 委彈壓 在案 电影升流 衰 派 委彈壓 在案 · 所聞查防疫本仿西 · 图答院調養已有村民 無不删繁就簡曲 業已

◆預備看操行轅 北流 報茲悉北洋大臣定於 洋二四两鎮於本月月 **較 嶽** 奉 擬

僧於鋪 大 市 臣價

料慮大令前往接署至重大令仍会到因任滿交卸在即遺嚴現由上台 提至習• 字請速派此項教員 4 仍未到堂上課經 宜昌初級師範學 2 上台 分

意欲星散勢將瓦解 因人 撥官 炙

**含證(繰吳養隆係山 聚皖擴縣將烟稅改歸** 

國法云 ▲飾拿把墾官佃 把持任情私相買賣等因尤舊無人是一個復控古藏學私立條議所有官佃事務仍 即 批查丈局轉節無爲州 情私相買賣等因沈護撫以該佃似此 獲嚴訊尤須追 

職仍屬觀望不前紳班則口滿額刻由監督如太史 由鄂督札飭藩司李珉琛催令官界報名並停委示 由鄂督札飭藩司李珉琛催令官界報名並停委示 政神班 截止報• 名。 湖北法政學堂原

委署府篆消· 赴任舅因抱病由 程輜重定期計 營撰定本月十 廳同知 漢回寓於初 施南府 和 + Æ - 日出缺鄂督陳

切軍需要事

長陽一縣令更動 陽縣 6 節回黃陂本任四札委湖北候補勝縣置治助大命 教員赴宜接

斯高 聞等 該,小 全 學 學辦

六百名照解酮

94

已电视

衙各州 趕

北段派許 北段派許金授彈壓 陸紹基彈壓太湖小池驛派李振遠大令彈壓稻山黃泥鋪派梁典史莖彈壓太湖 |秋操彈|

▲批駁烟捐减折 省城烟商店信義包酿器 
●批駁烟捐减折 省城烟商店信義包酿器 
建和斯永順等以烟税過薪縣名上票勠業道請願 
建和斯永順等以烟税過薪縣名上票勠業道請願 
建和斯永順等以烟税過薪縣名上票勠業道請願 
建和斯永順等以烟税過薪縣名上票勠業道請願

# ▲派員帮審案件

理事同知缺現委是缺之柏楝回任王家驥讇署武康縣缺現委候補縣洪子靖署理乍補府劉宗標請補爲程縣捐升遠缺以正任武康縣 ▲府縣官缺遷調· 淅屬台

扱之處間已於武林門外湖墅等處 設於二聖廟中下二局均係前清道 上局設城隍山下大乘寺子數十匹賽用極大竹絲 子數十匹賽用極大竹節裝盛立及更大型後即將原有之清道夫滅去八十名因 組織清道局

派徵兵官設局開徵問龍游局 庫默支糖此數當仍 洋二千元具票撫憑撥給官數存聞瑁 ▲請撥官數不准· 以第 者於獨屬西龍二縣 製造甚精前造之銕機 城徵兵 期僅募集二百 電票兵備處請示辦 由 該 A. **銕機等件幷另瞬引** 淅省微兵本就 十名而 

一刻各屬均未一體照解故特札飭各州 以符新章至已解之處或應全免难其 使數如或減成之處除去減騰應解之 教亦可將1 速清 餘作解

捐减折

蘇提學使核示未知能批准否

換章兼充帮審委員業於本月十六日蒞差視事因現塞蘇惠瑞方伯牌示派委安港司巡檢李少尹惠上憲以徒邑獄訟繁多請派員帮審以清積案将惠上憲以徒邑獄訟繁多請派員帮審以清積案将

# 州府鉄現定以候

門外湖墅等處備有險地矣同均係前清道局所至堆積拉聚寺內中局設於永寧院下城聚寺內中局設於永寧院下城 州清道局改歸香察局辦

朱 劉二 事而先通知条 等艦隊海軍 等艦隊海軍 等艦隊海軍 會經英美丽 船駛至中 務須 汽船

往漢口地方游弋 名抵勒均於前 曲 署九江府江防府倉司 上海開駛來海停泊 英國兵輪二艘 名 佈源波 不 H

開

案.

杭屬

餘杭動學所

於本年正月問開學現由該縣李大命一半日學堂籌辦船準捐為經費設學

南隊據

情名

△半日學堂立中日外設矣

聚辦桐產局由

局由徽江局

**匈兵正官同書記官辦理 周度君兼辦建德局由**東

建東

另委建昌府朱太守有 有基署理九江府聞不日來今爾藩筋回南昌府同知本 豫 任

在府城隍廟會議沿家軍府倉太守照會神董等等 鮏 警察局中如有火誓即第 警兵拖龍施 家寫捐 **海捐購置水龍及各部** 中籌數設立數火局前 江城內紳董公禀設九江 種教 日紳 救火鷕

● 法門江近信 全額神話、與此業以構地方提的隨批衝線層 意等以鄰境等處均經上憲派有兵丁駐防匪 意等以鄰境等處均經上憲派有兵丁駐防匪 意際乃以該鎮為巢穴日前票請提憲徐固明請 與應出沒之區據却之案時有所聞該鎮神董 等與神話、上述 安東縣潮河鎮地方

▲ 請辦水上警察 做那現有人具票當道以本城自開辦警察以來地方安靖盜賊潛蹤惟商船本城自開辦警察以來地方安靖盜賊潛蹤惟商船 等因未知如何批 警察製造巡船十餘號添慕巡丁 閘口大閘口 等處畫夜巡緝以

竟事出有因**不**不知

· 查看荒產

征曲

當無徐固帥筋青口

不云提師復派員前往關查務期實確管帶被控各節雖未能如原東之甚究的青口厘捐局委員,沈分就近查復刻詐殃民會經海州人民前往提署東控

海州地方索詐

▲ 查看 荒產 紹屬各處荒產每屆秋間由藩 憲委員分往各屬會同州縣履勘票報以便科征發 憲委員分往各屬會同州縣履勘票報以便科征發 簡別牽支提學使批云是永竈地既經出典於阮隆 時現率支提學使批云是永竈地既經出典於阮隆 時現率支提學使批云是永竈地既經出典於阮隆 時現率支提學使批云是永竈地既經出典於阮隆 時現率支提學使批云是永竈地既經出典於阮隆 堂是否 行價 地最充明强學堂常年經費等紹屬會稽職員卻某稟請學歷

查溉出

議察辨核

■ 素店為已有東各屬實殊屬不合惟該遊究竟有会該村大萬綠遊產無論能否發歸學受斷不容黃 幸產破壞學校經王景豪等控告現率支學使批嚴 新層縣多納黃某因吞示 無僧人住特花基花產如何留雲泰佔為已有東各屬實殊屬 人住特花基花產如 有黄緑示

者已矣而今日之生者**堪**危旣不能力伸國權於事 下事而死者已沉宛莫雪矣本年十月初間美艦隊 將蒞鷙島加之我國歡迎主艦與列國參觀客艦逆 整其尸親乃呈控於皷浪嶼工部局及會審委員陳 十月二十 位醫士視聽彼此簽字確屬衡沒溺近旬日始獲浮屍於數十里外之海 B 经浮屍於數十里外之海 羅姓名懷安香為際學 從右柱横貫 免美照 會事死遊隊月 擎領

一司多四 卫律質寡為 ご増深示業 ※ 窓部発經 週佩懸登 年若殊服 八不且宣 激將本布 仍股軍權 值出 年

錬雲大 藥房監製

嗣 年 輕

方と記能能

以及前別一切等定年日節以次治男子髂虚百損五勞七個命四種子之難所由來也雖廣置如在

合 春生 窗或種 **股如贵品** 贵级六 对禁四堅腎施求種 媒構味液經坤圖于 少及君而不受之 不便臣不足的人。 不使可不是的男子 不使或有以子 射相以精補男可 大政配陽滑腎精符

農慶酒衰精爲女 之酸性多清先血 操作和寒精女充 實際不或海以質 主賴不以精調而 种寒陰冷經無 養不虛及質病 山像數多距要然

大阪時若不子乾

先

之餘

有**為**宜之 一世子別

切之王去

息**修**貝 者牙子朝

劉李額復

問占组列

獨格揚最學少益遊堂優代徐 指優又流得瑞肆瞭無景 李不等得牙三意智 論文 雲勝又豫科昧英專先何先 酱田可西非返法科生業

凡見牙從國各學少若牙

**使其科督後國業即無科** 所西之學懸與大出**特中** 

之術収免奇訂博爾能天

據精果既牙於义科世競 豈深與精症此憑大界爭 阿面耶醫不科旋學之時

**元**人言學秘入詹諾者注別歌

樓日。

君

助予

力思之此

確

逄

邀彼得登

用

車所

來

之原

路

査 探 例

俄

m

台

此

與死

女

必

與鳳凰

鳥

有關

踏。

亦

未。

ाव

少頃

知。此。以

時已別

鐵路

值探

平僕殊不敏

母

日所謂

助者予得

處離車

一者彼得日助

男京

女都

一大切

**衡度之乃不** 

過相

愈毒經人門驗

生從。

替。

者盖

車軌赴

站室時途

中聶頻。後得遂

說探

鳳皇鳥

卷上

(續)

支度

小

說

彼等

--

准批部

· 縁由或彼 一類又云此 一

有。事

虎。無者。措

之迅 約 此 Ŧī. 後等 念。時。 聶 分。 分 Ξ 以 日。日。 首 君 甘。 恒。欲 時。 男子 之。 請 一 Eo 橸 室 室時。 五。 蚁 爲 車 然, 分。 言第 It. 在火車到 到 以予謂 知 站。在 维。 因思在 在車 之。前。 每。 \_ 彼得 義以 者。 有。 點。 FJ 與。到 今 牙機所 與 牙 與 及 有 不 類 形 觀 牙 與 及 有 表 那 異 項 長 也 中 及 有 天 淵 之

痛由○新送藥 止毛若根三房 且孔多與同立 愈拔年 氣凡 多 

麥消止嗽賽似金漿玉液〇 絕根誠普天下除痰止嗽之 年久豁醫束手若將此窩服 速將此窩中服頃刻安康亞 〇之服功 售點後效

〇叶十滋之常起無婦

練育年陰時而嗳論老 雲每舊生痰久嗷虚幼

大日症金喘咳夜寒器藥所荷輔氣失半咳般

仕一無得白及唱之

几面科論出痰燥嗽效

618 医其男食產咳痰如

替永己得虛痰咳響

急皆能立服立愈如有肺部受損此膏第 

哮

洋一元〇铺在上海二馬路中市西羅紹用搽此散立見拔舞去爛生肌止痛保復倒堤丸輕粉开藥電骚火焚凡有染此難至效足值當可擦盡骨內一切毒氣且能到於足值當可擦盡骨內一切毒氣且能 楊梅〇天 託第男請百極未筋內顧起治人 郵一女常中危得絡攻人染男傳 政奇下試輕之其且逢之久女投 法必存性包楊良

聯也疼方五服患染又命可梅方 寄○蒲和天樂者妻發攸限結束 信立或本冬一貴紹四級日縣用

里九分症迷鸞藥千能大京扣告則心羊問命有病  告廣行銀蓄儲商工義信辦商

工農

本本年凡便本權人通付行便本厘存三六一二上款一五發二在 為銀年存官行其隨行取寫官銀年付個個年年之月分年十個本商 之行之銀紳按未時是銀發商行 無月月以以存息〇以個月銀 完全表上上數九四上月銀行 上代不本戶算付發欵與票戶具 生其來與之思之出於鈔在由支 利將取行第洵銀支本票本本解 月四五六七八三上数不别均 息厘厘厘厘厘年之月同级股柱 利之者一為仍票行一銀人海 以存息 行十 作利如法利在之之樣行自以

理辦法此照均物各星零凡程章蓄儲錄摘下以

元角洋四女 六為三一八其之作七六元初甲為一五六自一其分千元父 為分百九生 以付洋十年父以還二年年論以還一歲洋父章止未者生年上年章 此洋一年存毋此一元後存何此六元可二母程 付再利全者者 類五元亦洋寫類千四付洋人類百八付十為權百二付十子推元角環念為推元角環一其 者加之未按按程

無 有南條外街芝家服 正朝長 <sup>品</sub>卷家宮路設開了</sup>

病服須大去得

丸天一試 並凋刻百 用之時 見

丹上最元之丸。 風海速每症專 戲三更料一治

後路者南盒和

內服(公司) 內國(公司) 內國(公

**企業** 育洋包遠虧粗等暢疝 育四愈年損如惠而氣

房刻包允賢雖忍服有寒時愈年養不步痛血濕

及腹小森風阻不小疝阻 皮内腸日 養能防氣滯

上另重以尤不陰預告 一製至及劇可**發逐由** 

受

佈元泰公壯留歸藏烟 告聲等身心觀色響音 告

汗輕充精思茂

四五八八 五 四 五一一二二五四一五九八一七五五六一七八七 元元 角角角元角 角角分分分分角分角角角角角角角分元分角角元角角元角 元 角 角 分

誌牘圖行影珠傳 科層眞 **晉書教蹟** 五約 日务

角元

第第二 板 版 版

五角五五 五二 五

角元角 五六五

易妥義

第五版

四第四第 四八

元元角

房括退賣發一角每此即食有蟲 打美剩代元每瓶立發香蛀醬



宋呂 高英羅賜 廉之吃穀糧免 洋大理顧物益之其業類 行馬威諾美而有味加用 便路上至如且衛清工上

**順久香品老** 口灸已烟海牌

戊514



出

元 元 元角角角

民傳常洋

角角角角角 角角角角角角角分分分角角元角角角分角分角角角角元角元角

麗種 編 論風問問問詞詞彙敎文

# 士唐嘉 五元連外改襲仁智職十三罪括

克香和當 利港所令 醫路凡業 度生在局主理一型 用工號洋房於九月 原本學各界1 切月戒方法二去未 □夏日百日 78開入被 不局均除 不局均除 如傳效早 有國現在 階名設北 烟**留**局洋

瑞

興

外

國

料籍

丹謂續

功此語

與酒宝」

南地許

洋三元

士隆見

件以及學有物域等

**— 四** 

從俱路必0 在 任 路心大原

招式

而單

**越**政 位商如

新

四季

面大元必

洋小姓

**兰瓶丹** 

元裝百

再海里中

練茸大

械大龙翔

外,万房狗便。 郑 文 啓 肾中间

層、種路萬生

男人

上有速

## 稿 **(E)**

Ð

來

## 川漢鐵路宜昌開了 上論

洋運到汽罐船泊碼頭以起重架運之登崖艦以木用何法以挽運入川試觀滬漢等處間有機廠自外 載之以達重慶且自重慶便之登山踰谷轉折以達 板墊馬路上用百数十人前班後推得寸進寸得尺 成都能否乎。 難兄轉徙數千里迭經險離又以不堪重載之民船。 進尺緩緩轉入街心以馬路之平坦搬運尚如此觀 姚而言計須購用中等汽罐的 重二十噸者吾不知 十噸拖車多洛其重竟至五六十噸以川漢鐵路初 **種汽流非同尋常局廠所用可以零拆運回重裝棄** 之何大無比奇重速恒美國鐵路所常用者約重三 成後不能分拆載運政必須派人至彼驗視云云此 緊要蒸汽縮造成後需用壓力壓水入。中點其絕 竣時派人至彼驗取有老工程師語余日此事最關 美國見有別國八至彼機器廠訂造車頭數十輛工 河道之險阨如此都八士當亦智見習聞 一二以相告焉吾昔在 矣鐵路以 元

器轉動皷險如川河如蜀道其何以行之哉 **運之入蜀旣難乎其難**鬼此奇重之物寸 要皆整塊不能再爲分拆光鐵路器料如鐵軌鐵輪 噴不等短者亦十餘率須視欄梁之長短不能預定節分拆然分拆後每節之後長者三五十噸六七十 不特此中成渝一段需架鐵橋者數處鐵橋雖可逐 步皆無機

**綜上數端不過僅就運輸鐵路器料一事言之足見** 各物不 將在公所之本質人等認真約束循規守分如蘇幫 代表陳宗浩楊德銘野京幫代表哈摩斯佑福四 內掮貨京帮从用有資本即不能佔無幫攤 辦之康園或吳祖川處祇哥京都評實公正 分辦之中仍腐兩相聯屬之意並責成現到之深

恩可獨言者噫川泛鐵路不修則已修則含宜昌無 武必至寸效臭机六局 追計工程之難。 路成之有利無利哉偷必貿然皆 先成渝者無乃類是夫先修成渝經始且處其不能 **蹙而輙曰先條成渝有種種之利譬之治病醫者極** 差全局俱壤今乃於最顯而易見之一端尙茫然罔 拉雜推挽矣川漢鐵路關緊蜀賓利害安范起着一 則主先成論者可以默然而退矣一切之議論可 因是而頓廢乎如其能保先修成渝可也如曰不能 之不沉沒乎能保重器之必運至乎能保工程之不 者若不之信運費之多寫可勿計也試問能保船艦 以任自、兩端起築獨至川漠鐵路則不能主先成渝 **馳也吾國鐵路如京漢粤漢京楡霄滬等路無不可 猶獲一易一易者何順序而進也一害者何背道而先修成渠雖有百利不敵一等先修宜蔥雖云百難** 之美能起百病+種種之功而不計病者不 一下咽而死亡隨之悔無及矣庸有官乎主 **瓦**彩蜀 +傳金二名由二+

**資収各業**導款 **資収各業**導款 元十三元 **經** 承 發 起 人 何廷之 歌結珠玉業が訟之道・

京帮自埤裝修物件不得更動證失一

以安生業婦得坑違兆建墻生事致干 佑翮等遵辨案既斷結該必所應即啓門照常変易 偷逾期《据禀道勒遷搬出之日所有修理及添置 立案外合函出示曉諭為此示仰 五年京帮各人應從速措辦地方為將來遊移之地公所為各部議事之用所察不為無理應定為暫借 不歸擬俟稍寬時日京幫應霓地方另行貿易留 卷並據蘇幫代表陳宗浩楊德銘面票公所是議事 **ᄣ察核飾遵不准再有爭執當堂取具两造遵結**附 得向蘇幫索回亦經面諭蘇幫代表哈廖五 難之處即由陳宗浩哈歷等禀明道縣聽 珠玉素各幫商人 ·提究除行

) 續鹽捕受勇槍斃鄉 尺案 即聽一面之詞指死者為私取以十四保二十圓地保莊遠祖報經方以勒索不遂無端槍斃胡子林 鹽捕營巡勇 械

從下工

完

### B 報 告 **3**

## 籌販水災 州 同鄉

康逐 時雨農 **会**洲三 积 融丞

胡文耀 胡文耀 邵詠仁 程仰之 **兪** 孝雲 **佘洲**三 查仲昭 詹蓉卿 與心禽 葉達泉 胡午 黄明顯 芬

實収各業導款 総業捐洋三百元正內龍洋四十一元 布業二百八十二元內龍洋一元小角洋一元 樂業九十七元 婺源瓷商四十五元 米業五十三元 縣潛南貨業八十元 婺源瓷商四十五元 米業五元 朱泰和典二十元 慶怡典二十元 和錢班託程實珍先生資明災區分別散賦一元小角洋一元一己於九月初四日匯往屯溪

本 埠 新 闡

照得蘇京珠玉葉前因公所興學一事各起衝突 週致起聲場釀成交涉故 地居腹裏質 民歌爱雅禄是以一再商 飯知着即照約紮阻不得 **民賽船者本屬通融**會已 請貴領袖轉諭旅源各下 與通商口岸

**逗經本洞燭其特批飭毋庸** 公正人查核乃該氏先則藉 **否親筆簽字即指此種契紙** 傳非爾夫產主掛號冊戶 克拉克掛號後輕過與愛爾 呈氏夫抵押道契共有五纸 一两號道契桉之本署底 出名租用 一百四十六及愛 一條二十 係光緒二十五年 一紙先係売件洋行

理如果輕理氏產之洋冊 洋冊 戸之代産 主掛 號 責任 而竟將該產過戶一切虧損須得有授權之心方安倫未 合光洋商代產主母號情形 掛號三紙係表騙今氏子 以授權憑據親自簽 之名亦不承認 被騙 一各 漁凯

始再予調查以杜科葛而昭坵 在前以該氏抗院 这族氏又夜急切 是公正人會查須 是公正人會查須 時就氏在成果 時間談氏所述 ● 百 訊 將 是 板 乳 氏 不 否以薛兇 餕 前 元 

受傷甚 正被擔去 氏 養傷阿丁 府子 H 大洋四二大洋四二 掛 門 岳 經

投經 F 媳巳 並 

大保王胡子等指為私販問小工度日前日無端被鹽塘 獨於館管稱不此聲領父 内条整哨親

份緝兇犯並杳尸屬核帥 同刑件人等蒞驗明委係 斃委中 命判 **應**孫少尹 收 分 是 子 马 日 十 二 圖

來要道帆牆林密岩由洋 允照須由道憲逕請領軸 道核辦昨由葵觀察准即 各洋商定期前赴青岛港 驻 滬各國洋人 議舉非本 灭總領事飭阻等情度紀 為蘇羅船隻往 方官保護難 素因該處 恐無知愚 **編等** 西 憲 帝 西 如 不係魔滬

外华 未票出 察明

計又何致窒碍難行來禀頹玩 報捐局果有彼此移抵情事處 公司 祇須將何人定額若干出 然敢有增減必須預先知會際 外張協 銷路一節從何 先知會

代表從中調停久懸未結現都

由前道飭合各

代表來轅集飢秉公斟酌

一應開館

位如 向

神生衆同日職 銅金

百四市由不市 遂紙捐 兩坦和值 元孫 陳 阿 公府、祭 七等客 供判陳 朱 府期金 生

不條有 不合 沈生郎公子不合 沈生郎公 不多 到局 亦初 沈

主該老虎灶! 華華 **季** 氏 老葉 源 <del>世</del>派 薛院梅 **分灶** 生 Ħ 伊内役 答責二 妻女等 賭博 摩

王為 医 篇 🛎 👸

生程四四角 節訊徐 釋兩 丁 造 棉

判各

押捕

房三月

蛊店●有 由谷〇 · 查如 潼 探 四句 界 題老紀子的 樓路 房桌 二間人

因 嫁 樓

碍 報 至 排房衛 選倫路 付之策 **後投** 实 西中葛 探被義 准劫 回司 回司除 飭 經 中鄰名 各猪肉

꺧道再爭外人.

漸分解 增批廣 · 新美男族 · 茶觀察以

中銷路一節從何來至各票定額多寫問點局視為禁令不予寄往內地之事出寫有何碍事各項彩單租界內因不數並未加增各票商减預據實報捐即明斯批斥畧云前定稽查辦法係為計票公司選以專捐殊碍銷場具票道票 理和界內因不准行銷然 理和界內因不准行銷然 理和界內因不准行銷然 理和界內因不准行銷然 學在與定領多寡雖難一例 奇性內地之事所稱禁絕 學問無臨時改變之理該 會斷無臨時改變之理該 學問票若干隨時據實開 中出票若干隨時據實開

店福商 吊投市 取奉高 藏總昌 銅工扇 兩程源 到廣局 着採昨 交協派 來役大捕 帶東帶

● 竟置不問 石魔林前晚台 美聞領事巴君判戚遠押餘人 下禮拜二訊核一 石魔林前晚台 下禮拜二訊核 是太領是實中西官以 做拘案乞譽王供自覩 他補拘入捕房昨解公 他補拘入捕房昨解公

栗向麥加利銀雲 東向麥加利銀雲 行取洋交捕 解訊 示供

老美應者宇其萬存蘇伊賈行千洋啓**,在** 國際仍賀息兩本拉羅加陽九一宿 代攤作調廠酬算五布利商園商司

tita aja tiha bahasa kabalah kebalah kemata Merendah kebahasa terbah kebahasa kebahasa kebahasa bah

廂角早器鐘捐售逢月聘 五邊日两起資洋禮勿請 角廂。得十支一拜四技 二惠伏一付元六日師 角臨望句券平顧即在 同五貨粹鐘資日拜禮錢 人至拜善無賑僕中改奪 **个禮一長美以威西良路** 啓拜至諸弗昭半戲異巡 日禮淑臻大開法樣補相賑州安本 之正拜媛怡全消人電房他孔等徽의 正拜媛怡全消人電房他孔等徽의 一正表於晚由券影音器捐品很人 元盛同灾八同每戲於選資待揚寫

하는 모든 마음이 되는데 되었다면 이 경기적인 일반이 해결 때는 모든 사람이 바다가 살았다. 그는 그들은 나를 모든 것이 되었다.

着分別收押候示婦人阿巧及願干! ● 仍 倘 ■ 大並陳鳳群等和安**所**請不能行 安**所**請不能行 安**所**請不能行 在第理 重複月型

恐耳保

|相推誘

着見

寬

等到縣

辦 孩

李紫大

分之

霸阻圖賴各

中自

理商勿

· 東尙係實情仰書法科目行理商勿遠與歷此報

張 東 殿 奉 ● 校 季 長 典 阿 村 元 批 号 長

批示局批

to

**●** 官事 前不 ● 官事 前不 由 知 緝私 蘇銷 部侍即 縣陳 《河清禀解》 《 本理臣》 假 捐昨煒 北均管 卡到帶 蹇 道 飛

員拜划

香廟越等投道票籍添設孤防制除推廣巡看傳資巡看外即恢放經安。6多由與香道商准用設立巡防 建电洞沉液自 差不該 能且即 由滬設 真 區學防因 itti 該條均

**洋 員 粤**由 務暨車賽欽局閘于蒞派 行北昨滬赴 驻 響晚 因接 滬局

●研訊失火 福州路杭大生烟紙店與養配剃頭店樓上之鑒質之成李推發不認李裏識商請 展盤與三百兩應請激究見証暨巡街捕均供火起 是實專司火政之西探烏克海票剃頭店值無變亦 是實專司火政之西探烏克海票剃頭店值無變亦 是實專司火政之西探烏克海票剃頭店值無變亦 是實專司火政之西探烏克海票剃頭店值無變亦 與頭店樓上之鑒質之成李推發不認李裏識商請 」 與頭店樓上之鑒質之成李推發不認李裏識商請 」 與頭店樓上之鑒質之成李推發不認李裏識商請 」 與頭店樓上之學質之成李推發不認李裏識商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏識商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏識商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏或商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏或商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏或商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏或商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏或商請 」 與面店樓上之學質之成李推發不認李裏或商請 一具內有珠鑽音師 獨各 尚未終席新房中包 臟用 幸遊 未遣 價 忽 速中值起姓前 七暄前 一探萬败晚 物候再像金巴爾 七要待 負 1 國弁抵稍艦

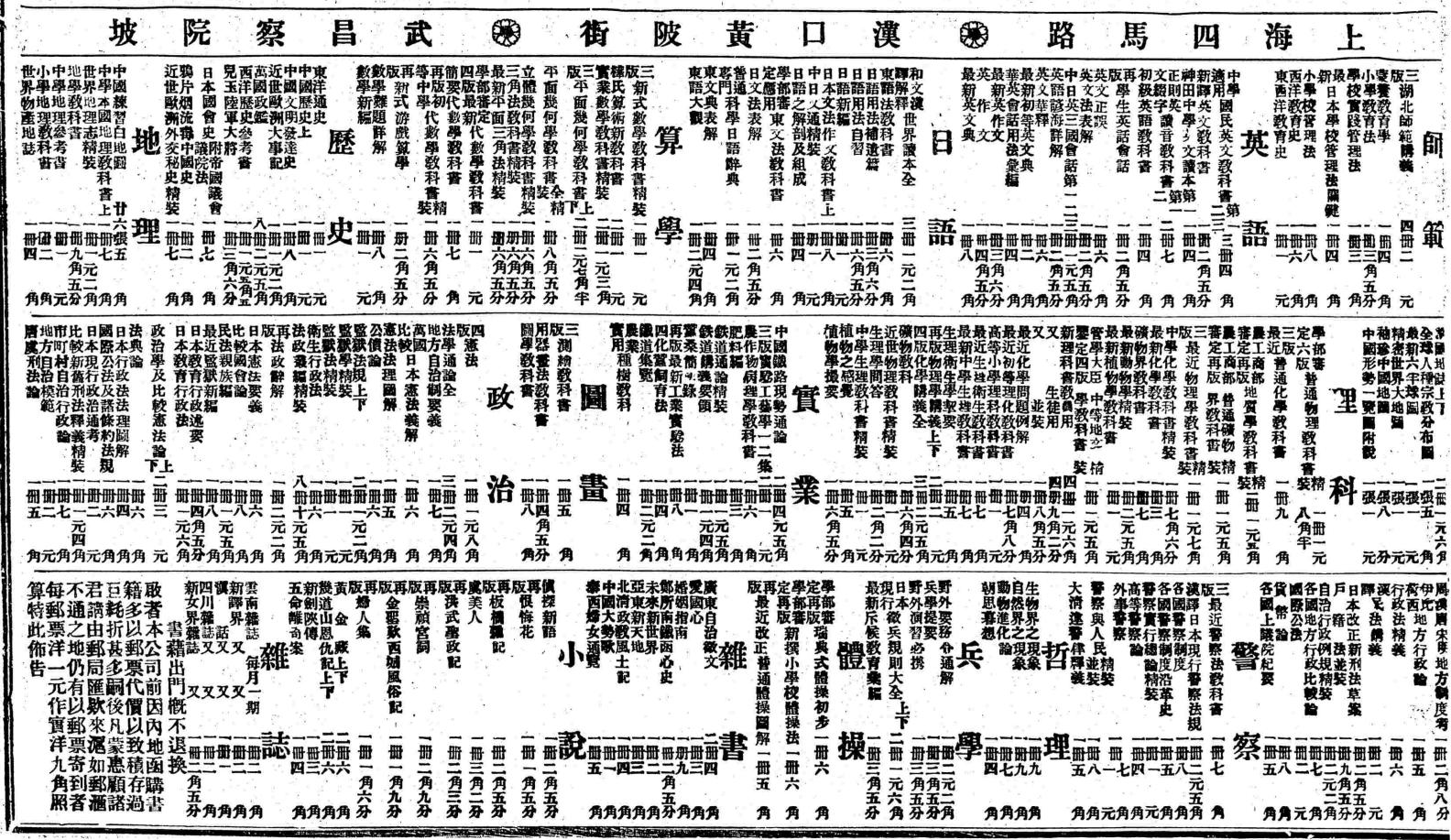
四榮係屬借 主何其自相予別周阿榮三人署名簽押縣 察閱抄機借 主係合鄉送 察閱抄機情 主係合鄉送 不可紀近投巡警總局於 節亦毫無實據情節支 又職員 案撒 

15节当白

國宣五現長北之**四**國吉在萬五行 三東匯厘下命存銀天呂打香元百收 洋聚息所三一餘津宋古港另萬足 十等可算執厘年日北紐隆分離元費 國以代五年者結京約北行定义本人日 四大羅付厘賀其帳橫根脇在備銀洋或民 通至本息三息者資鄉州給用洋一 年商倫里一個照其其安德敦股一千 碼數隨年月長息上貫國<u>阿本干五</u>行 入頭及票期者年長海西漢門洋四百

特歐並存其四年行頁口遇一百萬 月此州腓單息厘二與舊神逊千萬是

静中事照凡照為行巴強拉設百千本



3 - 3 - 2

## 業 新 聞

1 商 務 論

絲總會

所罕見而 絲葉夫以 整条 候之良好勞銀之低 年 此中,例 額。即 IE 以。此。以。法。無。 旦振而 全國。 會。以。 不 絲之產額。 我國 我但改良蠶絲 又加以蠶業之發達遠在二 四億萬餘而蠶絲 也我國民疑吾言乎盍進徵 占全國面積 之財權維繫 題,而 億 質力以 土地之大人民之衆氣 幕以來世界經 -千六百餘萬 區三島。 以蹂躏世界之<u>社</u>會 於**國絲**一部分即可 以現今世界之大 亦凌駕東西各國 廉俱爲世界萬國 繁國。 衡 集於吾 本農學士吉池 百 則莫善 其效易 分之 日· 年中之輸出 之而 家。 善多。有 之。而 之。而 於。 收。成。 命。謂。 於。 亦。 國。 脈。 可。 宗之翰 國故吾·競 共。之。

倒別之製絲沒 取。虎視耽 更 仰。一,有。 給。 末。 粉九。變。 世·里·恐 之。智。栽 外。轉 提 以 而。於 接。惟。期。利。一。絲。學。之學。一。然權。大。業。理。組 之對清 波及 支。那。 制白人 本會 Ħ 蠶業界。 林立耶近丼欲 興者 同 固屬。 改。 蠶 野 矣。 佛等 業改 有 中。張o 不。 吾經 勢。 關。日 加 行 其餘者。 彼烟台 不。渡 本恐其影響ラ 八民之痛苦。 腴思欲<mark>攫</mark>而。 復强隣倡處 慄。邊 改良 之 即 上海蜜 三所著 所。 民。 传。 传。 為。 為。 之計。 製故現。與己縣。蠶。在。蠶。不 我。 以。吸。 利·以謂抵 居 省。圖。

絲。第 賣。之。 惟。分。事。 本。幸。風

育。

其價 各土 土义三 各 銀各 百 三錢 定陳 Ξ H 主因 均 Ξ 毎 原• 兩票因• 洋元 售 **仍每**八五份兩 一斤兩錢須五 今 商去獲高秋 運 生主 行庫 八 **缝**本買重 偷土殆赴 一均盡產 我國產 己厚且 格行旋價市向禁適值時 萬元 漲也 錢雲 义三

百 均 行 Ħ. 百 百 全字 五裕 一名 千 千 千 千 百 百 六百 協和 天保 四十 生マ 五水值 一百四 箱茶化六四威 行買 茶棧

海 一進三兩螺 法 九錫零落. 分白 絲合昨 少十銀 法 包每担三

之。者。雲。幸。即湧。 抑 爲。猛 中。家。精。 國。增。進。 前。一。則 途。分。爲。 之。利。國。 幸。源。民。 不。一。

會。福。起。

## 

兩 融• 净日 令市 垣

徐現銷●出紗路上 上海 松門 上海 松門 七百包 如此秒 欲購 一市• 足近. **活加涨** 支 期情・ 辮 須 共 牛售本 四 聚咖 支 出廠 干許 價 第一約 然干 均 六 東 市 支洋跌後包近疲秒數徐然日

交 尙 銅錫 店 生 攤還債 汪榮卿 縣並令 卿令洲各岛

● 漢口

買空賣空之弊

調聽

商

之約 雖定而 其利益仍須取

償於

我

無 完 由 \_\_\_ 不 認斯 設局 可偷漏 用相絲 織 7 下 太平門 包 何董 緞 不 由 疋出 聞 火 信 要 云太 設 從絲緞 罰扣進緞道稽 前包

成項絲 同 偷• 完漏• 口章被• 只完關稅() 金陵() 照罰•

從前不過數分近來正 發成同售者紛紛購予 發成同售者紛紛購予 交易竟達二十三萬 公 人工有土 地方官重申 人然違禁私 漢上錢價跌 惟至 從 前 不 營口 一两 四日 一落千 豆•申 錢後市面岑寂 **之大手合矣資餅** 公所 逐漸低 做者 實 交易•維市 由 亦前此 H 旅 闘故不名 1 **\_** 規者問 異常 萬片 免 鉅 面 不 돠. 交所 應 函 額 油 之间 坊 數 Ħ 價 日落慣 日两 家 聞 漲 H 雖也竟落可西中二

**満銀元** 哈爾濱 大元 八 角 茲江江• 省銀銀・ 買賣 防 官 興 璵 銀 奇 

影提風捕

**叛達質訊結案**或由 縣核奪 由商會邀集會職 復

落

受商•

三元五

四錢滿

公司

子百三

**阿元** 

金金

鱼 五 **级** 大 連

栗百元

票八十二

金銀

督

金

票票 八四日五十二正

價

出

地

力

屬土業資本愈大 因愈 近鎮日江 今歲徐 受其 之譜 生意の 一因自 國鶯 粟减二其害 至其是 小 士 然不 土爲冰雹損傷祗 包己 派之因 則愈受其益愈 戒 到 6 3 有 情形均為 者 尚無多數 故貨 有三成 SF. **马沙** 

羁

務

飭

縣

傳

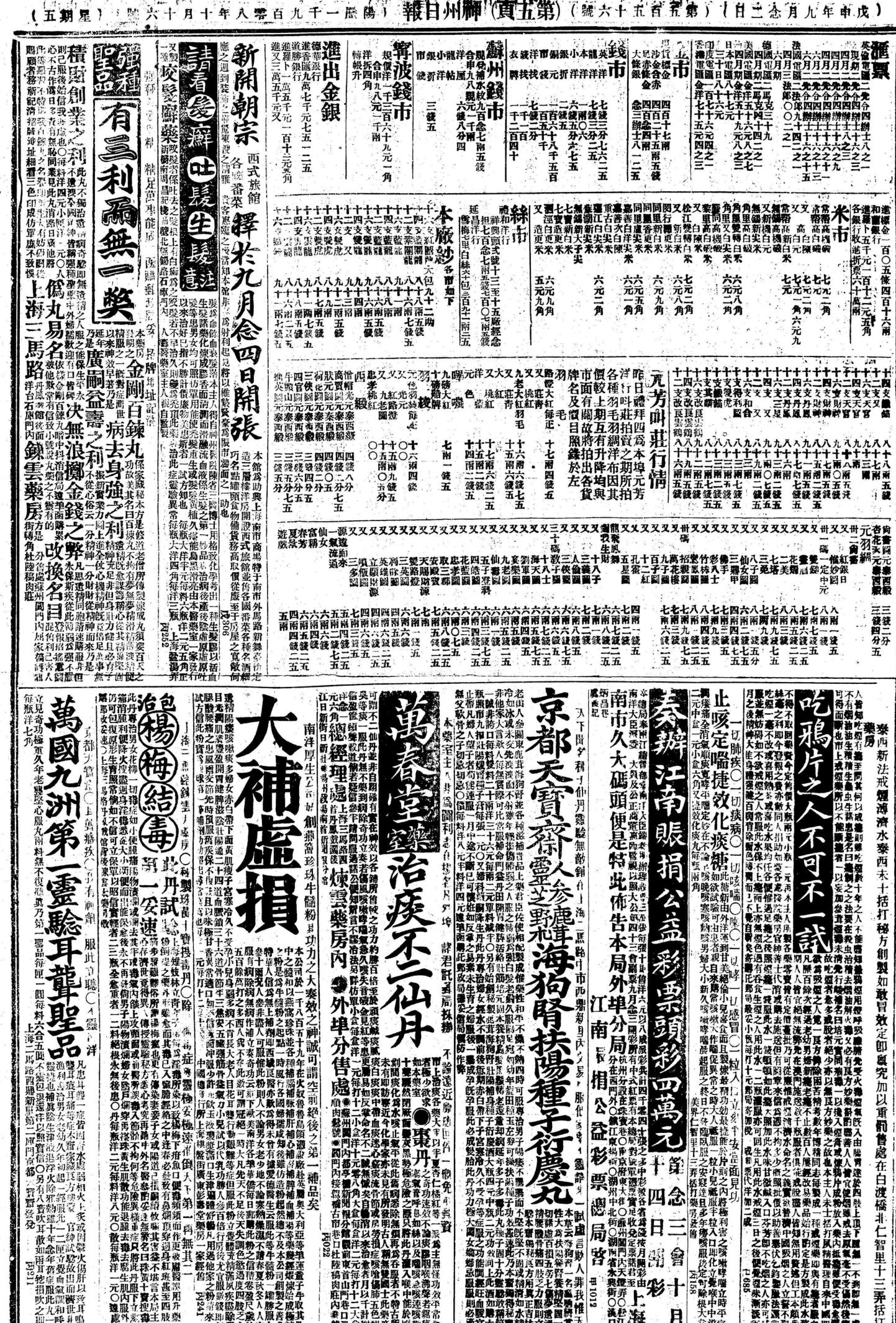
違•繳

府城

每價土 售海之• 毎原• 箱 因。 七約 元漲鎖 小零四郡 年加一則凡百市 杳 提則城內各典勢將紛粉於 質庫默以官本絲毫為 重芸 一 跌江 П

> 公所謂 茲 行五 公 物 當 已帖具由州呈

随層累而 日久 生棄地因 **其** 財 財 財 財 関 重 申 禁 令 漢 以 聞漢泉存 木耳 申, 來 源短 之棧 泉為 被至五間 滋轉每



一無面力銷宜人非精骨

二轮症而出肝

損服氣而以

吹此調實致

之九和世耳

即一呼升鳴

愈料吸從耳

元肌服士言甚誤

〇內下資本至用

速服立搜局四升

處外刻當主肢樂

信敬止丹人歡輕

稿首每者增雙服入咳喉怪肉山打月傷國者喉急溯功

**莊門十以肺士不中咳聲**效

内卷二千五此榜能連若平

**亚**口大計色樂古 於咳鋸常

服旺酒配獨清莫力傷精監我 則血如敢得如正服夢堅陽惟 必胺聯稱秘水吉則遺圖精子

產官十第實精林立滑一其天

超海

月

盆滋定

漸亦法督本此者中毒然無

護可厲不頗水殿 國意後一